

都市計画法第 17 条第 2 項に基づき提出があった意見書に対する東大阪市の考え方

都市計画案に係る意見の概要	意見に対する東大阪市の考え方
<p>東部大阪都市計画道路（大阪モノレール関連案件および若江稲田線）の変更について、以下の通り、意見を述べます。</p> <p>1. 民家からの距離について</p> <p>若江稲田線では、レールの高さが約 12m で、東大阪市役所前の駅に向かって高くなると聞いています。災害時にモノレールが横倒しになると人命に関わりますので、モノレールの位置は民家等の居住地から、モノレールの高さ以上の距離を確保してください。</p> <p>2. 住民への周知について</p> <p>市政だよりとウェブサイトの掲示で十分との認識のようですが、不十分です。</p> <p>本都市計画道路の変更は重要な話なので、市政だよりでも大きく掲載すべきです。また、「ウェブサイトでも閲覧可」と記載されていますが、どこに掲載されているのかが非常にわかりにくいです。市政だよりにもウェブサイトのアドレスを書いて案内する等してください。特に近隣住民には、知らないうちに工事が始まる事の無いよう、DM 通知すべきです。</p> <p>なお、住民への通知方法について、東大阪市開催の「平成 30 年第 1 回東大阪市都市計画公聴会」の際に公述させて頂きましたが、東大阪市からの回答は「今後の参考とさせていただきます」との回答で、問題とその解決が先送りされています。</p> <p>今の進め方では、公聴会も説明会も全て「形」を取っただけで、住民への通知も不十分で理解を得られたとは言えません。</p>	<p>都市計画道路若江稲田線の幅員は、「東大阪市道路の構造の技術的基準を定める条例」に基づき、安全な交通処理がなされるように道路幅員を定めております。</p> <p>また、大阪モノレールは、大阪モノレール技術審議会の審議を経て策定された「大阪モノレール構造物設計指針」に基づき設計施工することにより、所要の耐震性を確保することとなっております。当該指針では、橋の供用中に発生する確率は低いが、大きな強度を持つ地震動に対しても、橋として落橋等の致命的ではない状態を実現することとされております。</p> <p>これらを踏まえ、今回お示した都市計画道路若江稲田線の幅員は適切であると考えております。</p> <p>近隣住民への周知に関するご意見は、今後の参考とさせていただきます。</p> <p>府市共に沿道の皆様に丁寧に説明し、協議しながら事業を進めてまいりますので、ご理解・ご協力のほどよろしくお願いいたします。</p>

都市計画法第 17 条第 2 項に基づき提出があった意見書に対する東大阪市の考え方

都市計画案に係る意見の概要	意見に対する東大阪市の考え方
<p>都市計画の名称 東部大阪都市計画道路の変更（若江稲田線）について反対</p> <p>その 1 平成元年に大阪市西区から東大阪市に物流機能を移転させ、30 年間かけて設備投資を行い、IT 化を進めることで効率を上げ、業務を拡大してきました。</p> <p>モノレールの設置、並びに道路開設計画によって、当社の唯一の物流センターである東大阪物流センターの機能が、著しく破壊され、莫大な被害を被ります。</p> <p>その 2 全ての施設が、コンピューターによって、組織的に結びついており、機能的に一体となっている。当社の東大阪物流施設すべてを、本件施設とさせていたたく。当社は鋸螺（ねじ）の卸商社であり、日本最大の取扱量である。即納体制を整えたことで、ネジ業界、しは産業界において重用されており、業務上、物流施設は当社の命と言うべきものであり、その機能を果たしているのが、本件施設です。</p> <p>その 3 本件施設のうち、計画区域に係る施設の機能は次の通りです。</p> <p>第 1 倉庫：荷受機能、仕分機能、保管機能、出庫機能、 第 2 倉庫：保管機能、出庫機能 第 3 倉庫：保管機能、出庫機能 駐車場：乗用車を駐車</p> <p>これら倉庫内の商品は、コンピューターにより、適正な倉庫に出庫指示が掛かる仕組みになっており、日本全国 1 日数千社へ配送されます。</p> <p>その 4 本件計画により、前面約 10m 削減される場合の状況を報告します。</p> <p>第 1 倉庫 保管量が半分になり、荷受けメーカーが半減。残土地で自動化をしても、入出庫能力、保管量が半分になり、当社が必要とする要件を満たしません。</p> <p>第 2 倉庫 保管量が約 60%となり、それに伴い出庫量も減少します。</p> <p>第 3 倉庫 スプレー缶などを保管している危険物倉庫が無くなります。また、間口が削られることで、リフトでのトラックへの積み下ろしが出来ません。</p> <p>駐車場 6 台駐車できなくなります。</p> <p>この様な状況で、機能的に一体となっている本件施設では営業が出来ません。</p>	<p>都市計画道路若江稲田線は大阪モノレール南伸事業の一環であり、大阪モノレールを導入するために必要な道路計画です。</p> <p>大阪モノレール及び都市計画道路若江稲田線の都市計画の案は、近鉄けいはんな線との乗り継ぎや地域の活性化に期待できる線形となるように、大阪府と協議を進め作成してまいりました。</p> <p>公共の福祉向上の観点から、ご理解・ご協力いただきますようお願いいたします。</p> <p>また、用地の取得にあたっては、法に基づいた様々な手法について検討させていただき、権利者の方々にご理解いただけるよう努めてまいります。</p> <p>府市共に沿道の皆様に丁寧に説明し、協議しながら事業を進めてまいりますので、ご理解・ご協力のほどよろしくをお願いいたします。</p>

その 5 本件施設には、高額な投資をしており、これらが撤去等により無駄となり、当社の損失は勿論、社会的に見ても大きな損失と言えます。

上記 4 施設の合計損失額 15 億数千万円。

物流センター全体のコンピューターシステムの見直し、原価不明

施工工事中の交通障害による支障、円滑な配送が出来ないことによる顧客の喪失 原価不明

その 6 現在のメイン物流センターを維持した上での保管倉庫の再配置等の、事業の継続が成り立つような補償を願います。それが可能なら、本件計画に応じることが可能です。